

京都教区時報

第184号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都教区時報編集室 住所 京都市中京区河原町三条上る河原町カトリック会館5F



最後かも知れない

聖地巡礼の足跡

92・11月16日から30日まで

団長 田中健一 司教

あるサン・ジョヴァンニ・イン・ラテラーノ司教座聖堂で、連泊。



教皇と握手する団長

●ローマ到着

諸宗教総会のため一足先にローマ入りしていた私は元気な姿の巡礼団員45名をローマ空港に大塚師と一緒に迎え合流した。17日正午であった。早速市内のレストランへ。このレストランがローマ皇帝ディオクレティアーノと縁のある、またその名称を頂くもので二千年の歴史の重みを感じさせる。その後、サンタ・マリア・マジヨーレ大聖堂を訪問、聖アルフォンソ教会で静かにミサ。宿泊は終着駅のそばメディテラネオ。

●ローマ教皇と一般接見

18日(水)は8月から申込みをしていた接見日。一同正装してパウロ6世ホールへ。11時の接見に9時半から会場入りして待機。全世界からの巡礼者で満杯となる。伊、仏、英、西語でグループの紹介。日本京都と言われた時は全員起立して声をあげ黄色のハンカチを振る。その後通路近くの人は教皇と握手が出来て大感激。

団長の司教は特待で各所でスイス衛兵の敬礼を受け、接見時には壇上へ。

午後はカタコンベ見学。ミサはすべての教会の母で

あるサン・ジョヴァンニ・イン・ラテラーノ司教座聖堂で、連泊。

●サン・ピエトロのお墓でミサ

19日早朝サン・ピエトロ大聖堂の地下へ。ミサ後、バチカン博物館、午後はフォーロ・ロマーノ、ペトロ・パウロの牢獄跡、コロセオ、ジェズ教会で聖フランシスコ・ザビエルの右腕を表敬。連泊。

●ローマからイスラエルへ

20日早めにローマ空港に行き、空港チャペルで全員感謝のミサ。立派なチャペルをもつ空港は他には多くないであろう。

夕方すべての民の都エルサレムに到着(ローマは永遠の都と言われるが)新たな感激が心に溢れる。宿泊はエルサレム・ヒルトン。

●人類の救い主の足跡をたどる

21日、ベッサイダの池跡、聖アンナ教会、ゲツセマニの園教会でミサ。此處でキリストが私のために血の汗を流し給うたかと思うと、胸がつまる。千年のオリ

一 ブ老木の丘は聖書の場面を思い起^スこさせる。午後は死刑の宣告を受けられた場所から一緒に十字架の道行きを唱う。ヴィア・ドロロザである。聖墳墓教会で救いのみ業のクリマックスと主の復活を黙想。連泊。

●タボル山で 主の変容を想う

24日死海を後にクムラン（死海写本発見で有名）を見学。エリコをヨルダン川沿いに北上タボル山麓へ、小型車に分乗して山頂ご変容教会でミサ。モーゼ、エリアと語るキリスト。その光栄の瞬間を垣間見た3人の弟子のことを想う。その晩はキブツ経営のホテル（ガリレア湖畔）へ。

●船地を後に
田舎へ

27日早朝テルアビブ空港で厳しいチェックを受けてロンドンへ。

ウエストミンスター・カテドラ
でミサ。フォラム泊。

は巡礼の結びとしてミサをホテル特別室で捧ぐ。ガイドとして天下

一品だつたK氏に感謝の辞を团长より。9日早朝、H、空港で大反迄ノ巡礼をスムーズにした。

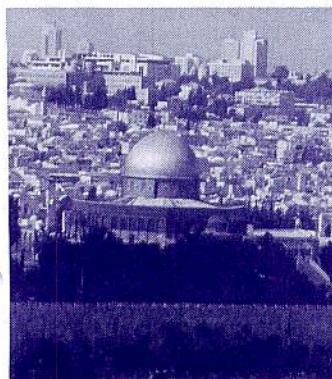
インストップのジャンボに搭乗。14時間のロングフライトで30日正午わず、トラブルにも巻き込まれず事故、病気もなく本当に祝福され

大阪に全員無事到着。テオ・クラチアス！

●荒野ノサを中止し
ヘルトンで

聖地最後の日

聖書に出てくる荒野は、日本では想像出来ない程厳しい。23日エルサレムを離れて世界最古の都市エリコへ。聖書に出てくる色々な場面についての説明を受ける。マサダ要塞に目がくらむ。死海の美しい夕暮れを眺めてホテルへ。有志



は死海で水泳

にカエザリア遺跡へ、此處は地中海に臨む主要港で聖パウロの出港の地で知られる。ローマ文化の色彩濃厚。ダニエル泊。

□あとがき

以上は思い出すままにこの度の巡礼の主だったものを記載した。その一つ一つに沢山の黙想の材料が溢れていると思う。

兎に角巡礼地のナンバー・ワンは

それだけに参加者の福音宣教に対する使命は大きくなつたと思う。何故ならば、神の国の福音以外に神を離れた人類を罪から清めて神と和解することは出来ないからである。救いの歴史の成就を体験する今、人類は福音を知る権利をもつてゐると思う。巡礼のみのりを今からの生活の中でさらに豊かにすることをお互いに祈念したい。

NICEのための 分かち合いで ありません。



Q. なぜ、分かち合いをするのですか?

A. 信徒行動によると、初代教会においては、食事の分かち合い(アガペ)、みことばとイエス・キリストのからだの分かち合い(ミサ)、喜びと痛みの分かち合い(話し合い)が行われていました。これらの分かち合いを通して、イエス・キリストの選てられた教会共同体を作り続けていくのです。



Q. 分かち合いでNICEの関係は?

A. NICEは企画だけではありませんし、何かの相針作りのためのものではありません。NICEは教会共同体作りそのものと言います。各小教区やグループ、そして全国大会では、その教会共同体作りを進める目的としています。各地や全国レベルでの分かち合いを通して、教会共同体という実りをもたらすのです。



Q. それでは、NICE-1とNICE-2とは、どう違うのですか?

A. NICE-2では、NICE-1で分かち合われた「社会に開かれた教会共同体作り」を、更に身近で、具体的なテーマ「家庭で取り組むわけです」。従って、NICE-1を私たち自身のこととして受けとめ、深めていくのが、NICE-2ということです。

=分かち合いを深めるために=

第1段階の分かち合いを来年の春まで延長します!

第2回 福音宣教推進全国会議(NICE-2)

NICE-2・今後の歩み

92年

9月

* 第1段階

現状の分かち合い
<共感と共有>

1993年

春

* 第2段階

- ・<3月までに
代表者の選出>
壮年2名・婦人2名
修道者2名・司祭2名
青年3名
- ・<4月末～5月初に
報告書の作成>
- ・<5月22～23日に
担当者会議>

1993年

夏

* 第3段階



1993年

11月

* 長崎大会

その後

*<わたしたちの新たな歩みが始まります>

第2回福音宣教推進全国会議 (NICE-2)準備委員会から

「NICEのための分かち合いであります」のパンフレットは読んでいただいたでしょうか。NICEのためだけではなく、教会共同体のための分かち合いを進めてくださいようお願いします。

さて、NICE-2準備委員会では、今年秋の全国会議にむけて準備を進めています。11月8日の第2回準備委員会では代表者の配分が決まりました。壮年2、婦人2、修道者2、司祭2、青年3の11名と司教の計12名です。

壮年・婦人は各ブロックから推薦していただき、2月14日の第3回準備委員会で検討されます。

NICEについてのご意見、ご質問は下記の準備委員までご連絡ください。

分かち合いを進めるために……

- 参考書:

- 「ともに喜びをもって生きよう」
- 「一人ひとりが大切にされるように」
- 「ともに手をたたずさせて」
- 「ともに だれと・・・」
- 「福音をのべ伝える(福音宣教)」
- 「祖先と死者についてのカトリック信者の手引」



<以上、中央協議会発行>
その他、公会議文書・日本司教団の公式文書など。

- ビデオ:

NICE-2の解説ビデオテープがあります。
中央協議会NICE事務局長小田武彦師の講演で、非常に分かりやすい話です。



- 各ブロックの準備委員までご連絡下さい。●

各ブロックのNICE-2準備委員

| | | |
|-------|--------------|---------------|
| 滋賀 地区 | 西山強(唐崎教会) | ☎0775-78-5701 |
| 三重 地区 | 下平義三郎(津教会) | ☎0592-27-7005 |
| 奈良 地区 | 田中哲郎(大和郡山教会) | ☎07435-2-5926 |
| 京都北地区 | 伊藤武志(西舞鶴教会) | ☎0773-76-0785 |
| 京都南地区 | 柴田敦代(宇治教会) | ☎0774-41-7294 |

特別聖体奉仕者学習会

去る10月31日、西院カトリック

会館において、第1回京都教区特別聖体奉仕者学習会がカトリック

きょうと福音センターの主催で行

われました。京都教区では現在、

約150人の特別聖体奉仕者が任

命されていますが、司祭を含めて

104人の参加がありました。

まず田中司教の講話があり、続いてグループに分かれての分かち合い、質疑応答、そして集会祭儀とお茶の時間で締めくくられました。

●田中司教講話要旨

聖体奉仕者には通常の奉仕者、すなわち司祭、司教と特別な奉仕者である特別聖体奉仕者の二種類があります。その特別聖体奉仕者の使命は、司祭不足を補う、とい

うだけでなく、信徒としてキリストの業を受け継ぐ、という積極的なものであります。

現代日本において、教会の第一の使命である福音宣教は、困難で

はありますが、ますます重要性を

帶びてきています。その福音宣教は、以前は聖職者の仕事と考えられていましたが、神の民全体が福音宣教共同体とならねばならないのです。

そのため、共同体は、キリストとの一致である最高の秘跡、ミサを必要とするのです。しかし、

共同体に通常の奉仕者（司祭）が不在のときには、非通常の奉仕者（特別聖体奉仕者）が必要になるのです。そして、特別聖体奉仕者は、聖体の尊さを知り、学び、謙虚さを身につければなりません。

奉仕者の皆さんには、そのような努力も必要ですが、共同体の一人一人も、そのことを理解し、集会祭儀を大切にしていくことが必要なのです。

●これから特別聖体奉仕者学習会

今回の学習会のアンケートをもとに、1993年には次のような学習会を計画しています。

一、6月27日(日)

二、10月3日(日)
於西院カトリック会館
於京都北部（場所未定）

於三重津研宗館

於西院カトリック会館

特別聖体奉仕者の任命を更新される方は、これらのいずれかの学習会に出席していただくことになります。また、内容は地区ごとの要望を考慮しながら決めてゆく予定です。

なお、新しく特別奉仕者に任命される方には、福音センターの基礎コースへの参加が勧められます。今年の予定は以下の通りです。

一、8月27～29日

於／宇治カルメル黙想の家

二、11月20～23日

於／津カトリック研宗館

また、名古屋の研修センターでも同様の企画がありますのでそれを利用されるのもよいでしょう。

（文責・柳本）

聖書講座終了式

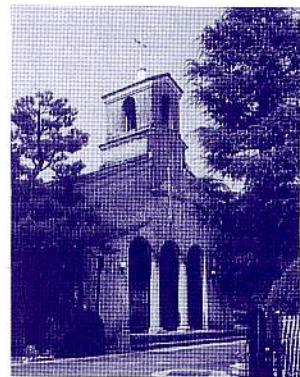


聖書講座シリーズ第8回「聖書にみる家庭と私たち」は昨年10月25日(日)に終了しました。終了式は午後1時30分、田中司教様、村上真理雄神父様、柳本神父様の共同司式によるミサによって始まり、ミサは参加した受講生が役割を分担して行われました。

思いがけない司教ミサに感動した受講生もあり、ミサ中、司教様による握手と記念の御絵をいただいて充された様子でした。

ミサ後、第2部の茶話会に移つて、柳本神父様による聖書ビンゴゲームで楽しいひと時を過ごしました。

カトリック青谷教会 40周年を迎えて



当教会は12月8日（無原罪のマリア祝日）に献堂40周年を迎えました。40周年は長い年月ですが、あまり進展のない小教区です。この機会に記念行事を行い、過去を振り返りこれから活力にできればと計画いたしました。

少數の信徒にもかかわらず、みんなの一致協力で無事計画通り遂行することが出来ました。これも神のお恵みと感謝しております。

まず、御聖堂横にミーティングルームを記念に建設し、これをミサ後の各部会会合にまた冠婚葬祭時の親族等に利用していくなど信徒の協力により完成しました。

そして当時は田中司教様、村上

会場は幼稚園ホールをお借りし、料理はすべて婦人部の手作りで、低予算にもかかわらず色々とりどりのメニューも多く皆様満足顔でした。

祝賀会は、西村神父様、国本信徒会長の挨拶に始まり、村上副司教様、尾崎神父様の御祝辞をいただき、当教区長老の太田様の乾杯で南信協会長、次期会長の心温まる御言葉をいただきました。

また、兄弟教会の宇治教会からは、美人コーラスの素晴らしい歌声と手品等をご披露して下さり、

そして今回のメインイベントは、田中司教様が、「よし私も一曲」と18番の歌を2曲も聞かせて下さいました。実に驚いたことは、話や歌にも耳を向けずおしゃべりしていた全員がさつと司教様に注目、そして最後には大合唱。

こんなに全員一致したのは……

さすが司教様の力には、改めて感動いたしました。

副司教様、尾崎神父様をお迎えし、記念ミサと堅信式を挙行していました。だき、その後祝賀パーティを開きました。

パーティでは、近隣小教区の方々が多数ご参加くださいり、約二百名の盛大な祝賀会を催すことができました。

久しくぶりにお会いになる方々も多く、思い出話に花が咲き、楽しい一時を過ごす事が出来、午後2時には司教様をお送りし、宴を閉会しました。

この小さな田舎の教会にも、神のお恵みが豊かであることを痛感し、感謝の気持ちでいっぱいです。

教区では神父様不足で共同司牧等の問題で苦しんでおられます。

当教会は幸いにも主任司祭に恵まれ、まわりがあまり見えていなかつたようになります。

40周年の記念が無事行えたのも、各小教区の皆様のお力添えがあつてのことであり、これを機に小さいながらも出来る限りのお手伝いに努めます。

そのためにも勉強をしていかなければなりませんので、これからは現代社会に向けた信仰生活と宣教活動のためのより正確な表現とより適切な規定が導入されました。京都教区においてもこの教會法が真に正しく活用されるよう願いつつ、新たに司牧の現場で働く喜びを嘗みしめています。

服いたしました。

そのあと、副司教様が四国からお迎えした司教様と瀬戸の花嫁を、西村神父様の一曲には、「英語がお上手ですね」とジョークがありました。

本人はほめてほしいのにとおつしやっていました。

久しぶりにお会いになる方々も多く、思い出話に花が咲き、楽しむ一時を過ごす事が出来、午後2時には司教様をお送りし、宴を閉会しました。

第二バチカン公会議を機会にその精神と教え、その後の福音宣教の理解と発展を踏まえて20余年の歳月をかけて改正された'83年新教会報について勉強しました。

教会に「法」と聞くと、しばしば愛の福音の精神や司牧の実践と相対立するような印象や批判を思ひ浮かべますが、教会共同体の信仰と生活を導くため二千年間教会がまとめ守り続けてきた教会法は確かにキリストの意志と聖靈の導きに基づく人々の救いのためのものであり、先の新法によって、全体的にはより一層その目的と精神を明らかにし、細部各条項においては現代社会に向けた信仰生活と宣教活動のためのより正確な表現とより適切な規定が導入されました。京都教区においてもこの教會法が真に正しく活用されるよう願いつつ、新たに司牧の現場で働く喜びを嘗みしめています。

帰國のごあいさつ

大塚喜直神父

1987年4月に渡伊し、ローマの教皇庁立ウルバノ大学教会法学部に籍を置いての5年の研修を終えてこの度帰国致しました。そ

の間、司教様、司祭団の皆様、又教区の皆様より頂きましたご協力、お祈りと励ましに心より感謝し、

時報の紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

マの教皇庁立ウルバノ大学教会法学部に籍を置いての5年の研修を終えてこの度帰国致しました。そ

同祭評議会報告

宣教司牧評議会報告

●審議事項（92年7月、9月、11月の定例会議で話された事）

(1) 教会建築資金供託金制度

92年6月10日付けで、教区事務所よりお知らせがありました。各小教区の建築資金の一部を教区会計に預け、その利子で建築借入金のある小教区の利子を肩代わりをするという制度です。

92年12月18日現在で400万円預けられており、小教区御堂改築各小教区にはかつた上で顧問会で決定されます。運営するには一億円の供託金が必要ですので、各小教区の協力が望られます。

(2) クレジットユニオン

日本共助組合には、教会建築の基金のためにナイスファンド／ナイスローンの制度があり、京都司教区も準会員で加入しています。京都司教区名義の教会建築であれば、教区を通して申し込めば、一般の金利より低い融資を受ける事ができます。

(3) 司祭・修道士研修会

参加者が年々減っているので、今年は8月ではなく5月10日～12日に鳥羽で行ないます。内容は新教会法における結婚についてで、

講師はラベル師の予定です。

(4) 司祭の休暇制度

サバティカル・イヤー制度を決めるよう、92年9月に司教に上申し、顧問会で93年4月より原則として10年毎に1年を分割してとれる事が決りました。

(5) その他

宣教司牧評議会報告第2回福音宣教推進全国会議に向けて、司祭・修道者懇談会、特別聖体奉仕者学習会、聖香油ミサ、教会合同洗礼志願式、平和への歩みについて話されました。

尚、92年5月に司教に上申された「建物維持管理検討委員会」については、顧問会で正式に「京都教区建物管理委員会」として教区委員会と地区委員会を作る事に決まりました。目的は、京都教区内にある教会の建物について、①修理が必要か、②修理期間はいつが有効か、③緊急修理、建て替えの要否の判断、④不備な部分の点検など、現状をよりよく維持し、管理する為の委員会です。

京都南部建物管理委員会は92年11月に桂教会の橋本氏外4名の委員が司教より任命され活動を始めています。

（文責・滝野）

12月12日から13日に開かれた第2回宣教司牧評議会に於いて、9月の臨時評議会に続いて、京都教区アンケートの資料の分析と分かりやすい解説文の作成に取り組んだ（時報182、183号参照）。

前回と同じメンバーで、5つのグループに分かれて、宿題となっていたグループ毎のまとめを各自持ち寄り、各教会に配布されていました。アンケート表（グラフ）などを参考しながら、分析と作文に取り組んだ。

第1日目には、夜10時半過ぎまで話しあった。翌日、9時から手続きを開始し、12時半までに各グループでまとめて上げた。

わずかな時間でのまとめなので、十分な検討がなされたとは言いがたいけれども、各評議員は最大の努力をはらった。

今後の予定としては、それぞれ人で用語や文体などの整理をし、次回93年6月の定例宣教司牧評議会に提出し、確認と承認を得て、

（1）93年6月12～13日

（2）93年12月11～12日

その内容については、後日何らかの形で、皆さん方のお手元に届くようにする予定である。

●他の審議決定事項

(1) 教区NICE準備委員会より提出された福音宣教推進全国会議への京都教区代表者選出に関する事。

その他の審議決定事項

(1) 教区NICE準備委員会より提出された福音宣教推進全国会議への京都教区代表者選出に関する事。

* 司祭3名を2名にする（内、1名は教区担当者司祭柳本師）。

* 修道女2名（修道士は、京都教区では司祭評議会に属しているので、修女連から2名）。

(2) 今までに、各定例宣教司牧評議会毎に、アジア交流委員会・資料委員会・青年センター・福音センター・NICE2準備委員会などから報告を受けていたが、93年から原則として、第1回定例評議会（6月）でのみ報告を受けることになった。

(3) 93年度宣教司牧評議会の日程

（1）93年6月12～13日

（2）93年12月11～12日

（文責・西野）

新年の抱負

京都南部信徒連絡協議会
会長 能勢慎(桃山教会)

主に栄光

皆様、明けましておめでとうございます。

巷には不景気の風が吹いております。先進国を中心経済の繁栄を謳歌し、環境の破壊を顧みなかつた80年代の日本のバブル崩壊に伴う世界的大不況、これはまさに神が我々日本国民だけではなく先進国を含めて全世界に示された警鐘ではないでしょうか。

まずエジプトを脱出したイスラエルの民は40年間の苦悩を受け、我々が崇拜し信仰の柱とするイエスでさえも40日間の難渋を経験されました。このような時こそともどつて素直に祈り、また人々に接していくうではありませんか。

さて、私は、93年、94年南信協の会長に推薦を受け就任することになりました。何分10年以上中央の機構のお役は致しておりませんので、不得要領ではあります、皆様方の御協力を

得て全うしたいと思います。

(1) パイプのつまりすなわち神父様方(司祭団)との対話を深めたい。

(2) 各教会それぞれの悩み事を話し合いを通してお手伝いさせていたくこと。一教会では出来にくくとも全教会が力を合わせて協同で考え努力すること。

(3) 司教様、教区事務所、司祭団との対話をを通してお手伝い出来る

こと、また我々の方からお願ひし、改められる分は改正していただくこと。以上の方針を中心に2年間の任期を勤めてゆきたいと思いま

す。

2共同体作りとその充実(愛ある)

3祈りであります。

4社会との関りであり、奉仕で

あります。

この4つは一つ欠けてもイエスの心に従わないことになります。

(投稿)

立ち出来るでしよう。

しかし基本は南信協を中心とした各小教区信徒の皆様が原点でございますので、今後共御協

力をお願いします。最後にある

神父様の説教の原稿を拝見しま

したのでそれを引用させて頂い

て感謝の言葉といたします。イ

エスは教会をわたしたちの教会

と呼びそれに大切な仕事を委ね

ておられます。

1福音の宣教であります。

2共同体作りとその充実(愛ある)

3祈りであります。

4社会との関りであり、奉仕で

あります。

この4つは一つ欠けてもイエスの心に従わないことになります。

(投稿)

お知らせ

●司祭銀祝のお祝い

昨年司祭の銀祝を迎えた本師、イルルズン師に、1月4日の中司教よりお祝いがありました。田国

●マリスト会の司祭の移動

富雄教会ギニー師、大和八木教会兼任(93年3月迄)大和高田教会タロック師、御所教会(93年3月迄)

前奈良教会ウイックス師、オーストラリアに帰国(93年3月帰

間の予定)アイルランドに帰国(3年

前奈良教会ウイックス師、オーストラリアに帰国(93年3月帰

日)

●「小教区・信徒の意見を聞く教

区の窓口について」(1992年7月1日付のお知らせ)の窓口に

なる顧問が8月1日付で一人交代しました。西野猛生師(旧)から花井拓夫師(新)にかわりました。他の5名は代わりません。

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀
貨物一式(仏式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
(075)312-7829

教区スケジュール

3日(水)古屋司教追悼ミサ
(高野教会)

6月12日及び12月4日
国本神父の典礼音楽講座

1月

4日(月)司祭評議会

(河原町カトリック会館)

・司祭修道者懇親会

(河原町教会)

8日(金)親睦二金会(西陣教会)

・アスターの書道教室(西陣カ

トリック会館)(書道教室は毎

週金曜日に開かれています。)

10日(日)卒業式(洛星高等学校)

・青年本音の集い

(西院カトリック会館)

11日(月)家庭委員会

・京都カテキスマタ会新年会

(河原町カトリック会館)

16日(土)部落問題委員会公開講座

・(河原町カトリック会館)

17日(日)C B S 総会(西院教会)

・教会一致全体集会

(河原町教会)

24日(日)平和への歩み教区実行委員会

・小羊会例会(高野教会)

(河原町教会)

31日(日)カテキスマタ会主催恵みを貰く

・毎月第2金曜日

(河原町教会13時)

26日(木)ヨハネ福音書講座

(西院カトリック会館)

28日(木)ヨハネ福音書講座

(西院カトリック会館)

・古屋司教追悼ミサ

(河原町教会13時)

(変更)

4月25日 司祭叙階式

(河原町教会15時30分)

5月21日 23日 祈りのコース①

1日神学生入門93年度予定

1月23日～24日(桂)／2月27日～28日(西院)／4月24～25日(桂)／5月22日～23日(西院)／6月26日～27日(桂)／8月は未定／9月25～26日(桂)／10月23～24日(西院)／11月27～28日(桂)／12月25～26日(桂)／10月23～24日(西院)／11月27～28日(桂)／12月25～26日(西院)

して援助されました。

3月8日 家庭委員会
〔追記〕

3月8日

13時30分

(西院カトリック会館)

・(河原町カトリック会館)

6日(土)卒業式(洛星高等学校)

(河原町カトリック会館)

7日(日)日本26聖人顕彰ミサ

(フランシスコの家)14時

・結婚相談室開設(河原町カト

リック会館)13時30分～15時

8日(月)家庭委員会

(河原町カトリック会館)

10月予定 ラザロ・元和殉教者列

福記念ミサ

11月予定

3月25日～27日 教区中学生春合宿

4月2～4日 C B S 宗教トレーニング・キャンプ

5月予定 都の聖母讃仰記念ミサ

6月2～4日

3月25日～27日

7月25日～26日

8月25日～26日

9月25日～26日

10月25日～26日

11月25日～26日

12月25日～26日

1月25日～26日

2月25日～26日

3月25日～26日

4月25日～26日

5月25日～26日

6月25日～26日

7月25日～26日

8月25日～26日

9月25日～26日

10月25日～26日

11月25日～26日

12月25日～26日

1月25日～26日

2月25日～26日

3月25日～26日

4月25日～26日

5月25日～26日

6月25日～26日

7月25日～26日

8月25日～26日

9月25日～26日

10月25日～26日

11月25日～26日

12月25日～26日

1月25日～26日

2月25日～26日

3月25日～26日

「インドへ友愛の手を」慈善演

奏会の報告

昨年11月29日に開催された結果、
1,077,649円が「インドへ友愛の手を」の運動の一助と

◆2月20日(土)午後7時より講演会
「外国人労働者と保証人バンク」、
講師・山本直子さん(奈良・斑鳩
町々会議員)今話題の保証人バン
ク、是非聞いて下さい。

●第5回教区合同洗礼志願式

日時：2月28日 午後2時
場所：河原町教会

参加費：200円
洗礼志願者、代父母、教説担当

者は1時半迄に地下ホールに集
まつて下さい。式後祝賀パーティ
イーがあります。尚、京都市内
各小教区から2名ずつのスタッフ
の協力をお願いしています。

累計 1,551,852円
加入者数 574名
(昨年12月4日現在)

●「一万匹の蟻運動」基金報告

24日(水)黙想会(河原町教会)

25日(木)ヨハネ福音書講座

(西院カトリック会館)14時

28日(日)教区合同洗礼志願式

(河原町教会)

◆昨年10月、釜が崎ふるさとの家
の本田哲郎神父より「不況づき
で仕事がなく、野宿者が急増して
いる」と緊急支援の要請があり、
これに応えて7日より教区内でア
ピールをし、毛布、米、野菜、お

金などたくさん頂き届けること
ができました。1回の炊き出しは
900食で、お米は100kg使用
するのでと喜んでいました。2月
中支援を続けますので、よろしく
お願いいたします。